

令和7年度 愛媛県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和7年6月16日（月）14：00～16：00

開催場所：愛媛県農業共済組合 5階 第1・2会議室

出席者：委員8名

日本年金機構8名

議事次第

1. 開会

2. 議事

（1）令和6年度 事業実施結果及びその他の取組みについて

（2）令和7年度 事業方針について

3. オンラインサービスの推進について

《別紙資料》オンラインサービスの推進（個人向け）

4. 閉会

議事要旨

1. 開会

開会挨拶：日本年金機構本部 四国地域部上原部長

委員紹介

出席状況：委員定数10名中8名出席

※愛媛県地域年金事業運営調整会議設置要綱第4条第2項の規定により成立

2. 議事 令和7年度 愛媛県地域年金事業運営調整会議（資料）を用いて説明（※以下、資料）

（1）令和6年度 事業実施結果及びその他の取組みについて

・地域年金展開事業の概要

（資料P1～2）：説明者 松山東年金事務所 柿原所長

・令和6年度事業結果報告

（資料P3～12）：説明者 松山西年金事務所 藤岡所長

（資料P13～16）：説明者 新居浜年金事務所 武井所長

（資料P17～22）：説明者 宇和島年金事務所 安部所長

・令和6年度その他の取り組み

（資料P23～27）：説明者 宇和島年金事務所 安部所長

<ご意見・要望等> ※■＝委員長・委員 □＝事務局（日本年金機構）

■中井委員

資料について、一時から比べると大変見やすくなったと思います。その中で、気づいた点を挙げると、資料18、19ページについては、県内の取組み内容を時系列で掲載しているが、その他ページは事務所毎の掲載となっている。我々としては、事務所毎での取組み内容よりも県内の取組み内容を時系列で掲載いただいた方が分かり易い。いずれにしても、資料はどちらかに揃えた方がよいと思います。

□事務局

貴重なご意見ありがとうございます。資料につきましては、より分かり易く、見やすい資料の作成を心掛け、次年度の資料作成の際の参考とさせていただきます。

■佐藤委員長

他にご意見がなければ、令和6年度事業実施結果及びその他の取り組みについて、ご承認いただけますでしょうか。

■各委員

異議なし（承認）

（2）令和7年度 事業方針について

・令和7年度事業方針

（資料P28～29）：説明者 松山東年金事務所 柿原所長

・令和7年度事業スケジュール

（資料P30～33）：説明者 松山東年金事務所 柿原所長

<ご意見・要望等>

■伴委員

年金セミナー事業について、参加者が多い学校は毎年参加者が多く、少ない学校は毎年少ないということで、大体固まっているのか。又、参加者が少ない学校に対しては、何か個別アプローチをしているのかお聞きしたい。

又、年金エッセイについて、「わたしと年金」をテーマに募集の取り組みを実施しているが、残念ながら愛媛では応募がなかったとの結果。年金セミナーとエッセイ募集の時期が凄く離れているので、年金セミナーで学生が年金についての関心を持っている時期にエッセイ募集のタイミングが来れば、エッセイの応募にも繋がってくると思いましたので、ご検討ください。

□柿原所長

年金セミナーについては、年間を通じての開催を考えていますが、年金セミナーを毎年おこなっている学校においても学校との調整の中で開催時期が決まっており、年度末に偏っている傾向にあります。エッセイ募集の時期につきましても、例年この時期に取り組んでおり、ご意見は本当に理想的な形だと思います。年間を通して年金セミナーが実施できるよう取り組みを進めて参ります。

■佐藤委員長

エッセイの応募がゼロということは、何か理由がありますか。昨年と同じスケジュールで取り組み内容も同じであれば、今年度もゼロの可能性があり、何か原因があるように思います。

□柿原所長

エッセイの応募がゼロという結果は、とても残念な思いでいますので、広報の幅を広げるなど工夫しながら取り組みを進め努力して参ります。

■伴委員

エッセイ募集についての参考になれば、以前、小学生を対象に健康についての新聞コンクールをおこなっていたことがありましたが、なかなか応募数が伸びないというところがあって、学校のご協力も必要ですが、健康に関する授業のすぐ後に新聞を書いていただくような取り組みをさせていただきました。内容的に考えていただく時期は、どの時期でも大丈夫なことだと思いますので、年金セミナーの後に、少しエッセイについて考えていただく時間を確保してもらえる学校が1校、2校でもあれば、応募に繋がるかと思います。

■中井委員

今年度の新しい取り組みとして報告のあった保育園や幼稚園、小学生とその保護者を対象としたセミナーの開催について、具体的にどのように取り組んでいくのか、現時点でのアイデアなどがあればお聞かせいただきたい。

□柿原所長

機構内の他地域でそういった取り組みをおこなっており、それを参考に全国で同様の取り組みを実施するという事です。愛媛では、初めての試みとなりますので、他地域の取り組みをお手本に進めていこうとしているところです。又、保護者を対象にした年金教室を含め、秋のねんきん月間には形になるものにしようと考えている段階です。他の官公庁等でもポスターコンクールなど実施しているところもあると思いますので、そういったノウハウがあれば取り入れながら進めていく予定としております。今年度の実施結果につきましては、来年度の会議でご報告させていただきます。

□上原部長

補足。県で1箇所、力を合わせて新しい事業をしようということで、全国的に動いている状況でございます。急な話で、アプローチを試みているが、なかなか良い返事が無く非常に壁が高いとは思っています。イメージとしては、県外で絵画展を実施しておりまして、子供さんに絵を書いていた後、絵の展示や表彰式を踏まえて時間を取っていただいて、保護者も対象とした「ねんきん教室」を開催できたというイメージで進めています。機構本部としても、今年度では、各県1箇所は開催できるのではとの思いで取り組みを進めています。

■伴委員

幼稚園や小学生を対象とした取り組みについては、協会けんぽとしても本部から同じような事業ができないかということで、事業計画に盛り込まれています。しかし、特に、小学校では、カリキュラムが出来上がっているなかに入り込むことは、非常にハードルが高いと感じています。健康づくりという点においては、愛媛県がすごく前向きに取り組んでいて、元々、愛媛県は血圧が高いということで、血圧や喫煙にスポットを当てて、県内6箇所の保健所が積極的に動かれています。小学生5・6年生とその保護者を対象とした勉強会も取り組みを始めて3年目ですが、1年目、2年目では手を挙げてくれる学校が少なくご苦労されたようですが、3年目の今年度は県内12校で開催できることになったと聞いています。各エリアの中で、市町の協力いただけそうな教育委員会に個別に働きかけ直接交渉しながら進められたようです。カリキュラムとしては、子供が興味を持ちやすいということで、健康づくりでしたら、食べ物の模型を持参して手に触れる体験や実際に血圧を測ってみたいと、具体的な体験があった方が喜ばれる。又、保護者も一緒にするというので、保護者に対しても興味を持たれるような内容を提案しているとのことでした。協会けんぽとしても、勉強しないといけないところですが、学校の温度感やアプローチ先について、愛媛県の方では、そのような形で進められていますので参考までに紹介させていただきます。

■徳久委員

令和7年度の事業方針については、すべて前向きで良いと思いますが、出張年金相談会について、令和6年度の実績を拝見すると地区に偏りがあるように思います。特に、今治は実施されていない、大洲、八幡、内子と距離が近いところで実施されているように見えます。可能であれば、県内のバランスを考慮して、広範囲での実施ができた方が良いでしょうと思います。次に、年金エッセイについてですが、従来から広報のやり方が変わっていないと思いますので、別の方法など前向きに検討していただければと思います。又、地域年金推進員の委嘱に関しましても、同じような方法で委嘱の拡大をされていると思います。学校の先生も公務員で、おそらく定年も伸び給与も上がってきています。今年度においては、教職員給与の見直しもポイントになっているようなので、機構としても条件を変えていかないと推進員のなり手が無いと思います。これは、大きな課題かもしれませんが、本部の方で検討を進めていく事項だと思います。前向きに動かれていることは、よく理解できますが、以前と同じやり方だと進まないこともあるので、ご検討をお願いします。

■佐藤委員長

皆様からの貴重なご意見ありがとうございました。他に、ご意見がなければ、令和7年度事業方針及び令和7年度事業実施スケジュールについて、ご承認いただけますでしょうか。

■各委員

異議なし（承認）

3. オンラインサービスの推進について

別紙資料 オンラインサービスの推進（個人向け）を用いて説明

説明者：今治年金事務所 中屋所長

<ご意見・要望等>

■田中委員（代理）

オンラインサービスについては、機構の方で力を入れていただいております。一方で、松山市としましては、法定受託事務という形で法律によって事務を行っている立場のところに一般のお客様から年金に関係するメールが届いたりすることがあります。メールの内容は、年金事務所のこともあります。年金事務所へはメール転送ができない状況にあるので、電話やFAXを使用したりと対応に苦慮しています。又、機構のホームページ上にご意見コーナーはありますが、海外からの意見はエラーになるなど、個人向けサービスに力を入れて事業を進めていることは解りますが、市町との連絡調整や事務連絡にももう少し力を入れていただけたと思います。

□中屋所長

貴重なご意見ありがとうございます。インターネットを使つての連携につきましては、機構の方でもしっかりとした仕組みを構築していかなければならないと思っています。お客様からもホームページのレイアウトが分かりづらい等のご意見を頂戴しておりますので、様々なご意見を踏まえて分かり易く使いやすいものにブラッシュアップを進めていきたいと思っています。市町との事務的な連携も含めて、機構としましても一緒に改善を図っていきたいと考えていますので、機構本部にも伝えまして、しっかりと図って参りたいと思います。

■佐藤委員長

個人向けオンラインサービスについてですが、「いつでもどこでも」というのは、現状と違うのではないのでしょうか、利用する時間が限られているので、「いつでも」に引っかかってしまいます。今後、ブラッシュアップされていくということなので、そういうところだと思います。

□中屋所長

全くご意見の通りだと思います。しっかりと改善を図って、サービスの向上に努めて参ります。

■佐藤委員長

マイナンバーとの連携も難しいように感じています。マイナンバーの方が思ったように進んでいなくて、その影響がでているように思います。紙とオンラインサービスを続けていくことは、生産性がないので、オンラインサービスを推進していくほかない。

■中井委員

総務省や厚生労働省、デジタル庁など、それぞれの行政機関が立ち上げた電子申請等の電子サービスが現状では上手く噛み合っていない状況です。今後、マイナポータルとの紐づけがされてシステムが整備されると各種の様々なサービスの運用が上手くいくようになると思います。現状は、その過渡期のような状態です。

■佐藤委員長

他にご意見等はございますでしょうか。本日、各委員から頂戴したご意見や助言、要望を今後の地域年金事業に繋げていただくことをお願いします。最後に、事務局の方から何かございますか。

□柿原所長

本日は、多数の貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。本日、皆様から頂戴しましたご意見や助言を今後の地域年金事業の推進に必ず繋げて参りたいと考えております。又、次回の会議までにお気づきの点などがございましたら、松山東年金事務所総務調整課までご連絡ください。最後になりますが、お時間が許しましたら、次回の会議にも是非ご出席いただけたら有難く思います。本日はどうもありがとうございました。

□佐藤委員長

皆様のご協力により時間通り議事を進行することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。以上を持ちまして、本日の愛媛県地域年金事業運営調整会議を閉会いたします。ありがとうございました。

【提供資料】

提供資料１：年次報告書

提供資料２：職域型年金委員向け情報誌「ハナミヅキ通信」令和６年４月号

提供資料３：地域型年金委員向け情報誌「みつばち通信」令和６年４月号

提供資料４：令和６年度エッセイ募集リーフレット

提供資料５：令和６年度エッセイ作品集